

WORLD



ミーア・スタープ

Meer Campbell  
FAN BOOK

18  
UNDER

# MEER CLIP



*SEED*

*ANOTHER CENTURY  
EXTRA CHAPTER*



- 外伝 -

# MEER CAMPBELL

ラクス・クラインに憧れ 目指した 過去の日々すら 今は…忌わしい



ラクス・クラインの  
"代替品"として  
権力の慰み物に  
される毎日…

いつしか私は  
ラクスを憎む  
ようになっていた

ここから  
逃げだしたい！



もうこんな  
不毛な茶番は  
終わりにしよう  
……!!



私の傍でこそ  
君は輝きを放つ  
ことができるだろ  
う……!!

ミーア・キャンベル!  
私はオーティシヨンの  
時からずっと君を  
見ていた

そんな中…救いを差しのべてくれた人が在た。



君は  
ラクス・クライン  
なんかじゃない  
もうそんな  
振りはしなく  
ていい……!!

君はこんな所で  
慰み物にされて  
終わる女じゃ  
ない筈だ……!!



引き込まれた…というより逆らえなかった



少なくともこの“牢獄”からは脱け出せるであろうその手に  
私はすがりついた



この人に…  
ついて行こう！





私は彼の奥の見えないその瞳に  
支配される悦びに溺れていった

どれだけ抱かれても  
温度を感じとれない  
彼の腕の中で  
私は激しく燃え上がる

求めてほしい！  
いつまでも待つ  
から



キラ・ヤマト  
……か

あの少年がラックスの  
化身のように  
立ちただかる限り

…この戦争はどんどん  
悪い方向にいくのかも  
知れん

…彼は遠まわしにまったく別のことを私に求めている気がした



クルーゼ隊長

私がこの姿を  
利用すれば  
キラ・ヤマトを  
……!

でも、今はそれでもいい  
彼の役に立てればいずれ…



約束  
しよう…  
ミーア

この作戦が成功  
すれば 私は君を  
元の姿に戻し

正式なクルーゼ隊  
の一員として  
迎えることを…!!

「君を不幸な目にあわせた あのラクスに ひと泡ふかせてやるといい…！」



クルーゼの口元がかすかに緩んだのが 私には嬉しかった  
自分を必要としてくれる人の役に立つため 私は 遭難者を装い  
アーク・エンジェルへの潜入を試みる。



——初めて会ったキラ・ヤマトは どこか淋しげな影のある少年だった。





キラ…  
わたしを見て

ラクスより大きな この胸が自慢なの…！



は…

んう…



ん…

アツ

キラ…  
そこ… あツ

さあ…ちようだい  
キラ…!!

今すぐ…あなたが  
欲しいの…!!

ハ

ハ

ハ







…キラが 私の中で 暴れている



キラいらい…  
すげーいらいのオ!!

激しく、強く、雄々しく猛る“彼”を受け止めながら  
私も絶頂に達し 甘い声を漏らす。




あッあ……キラ  
す、すごくいいー！

もっ…  
もっ…  
もっ…  
もっ…

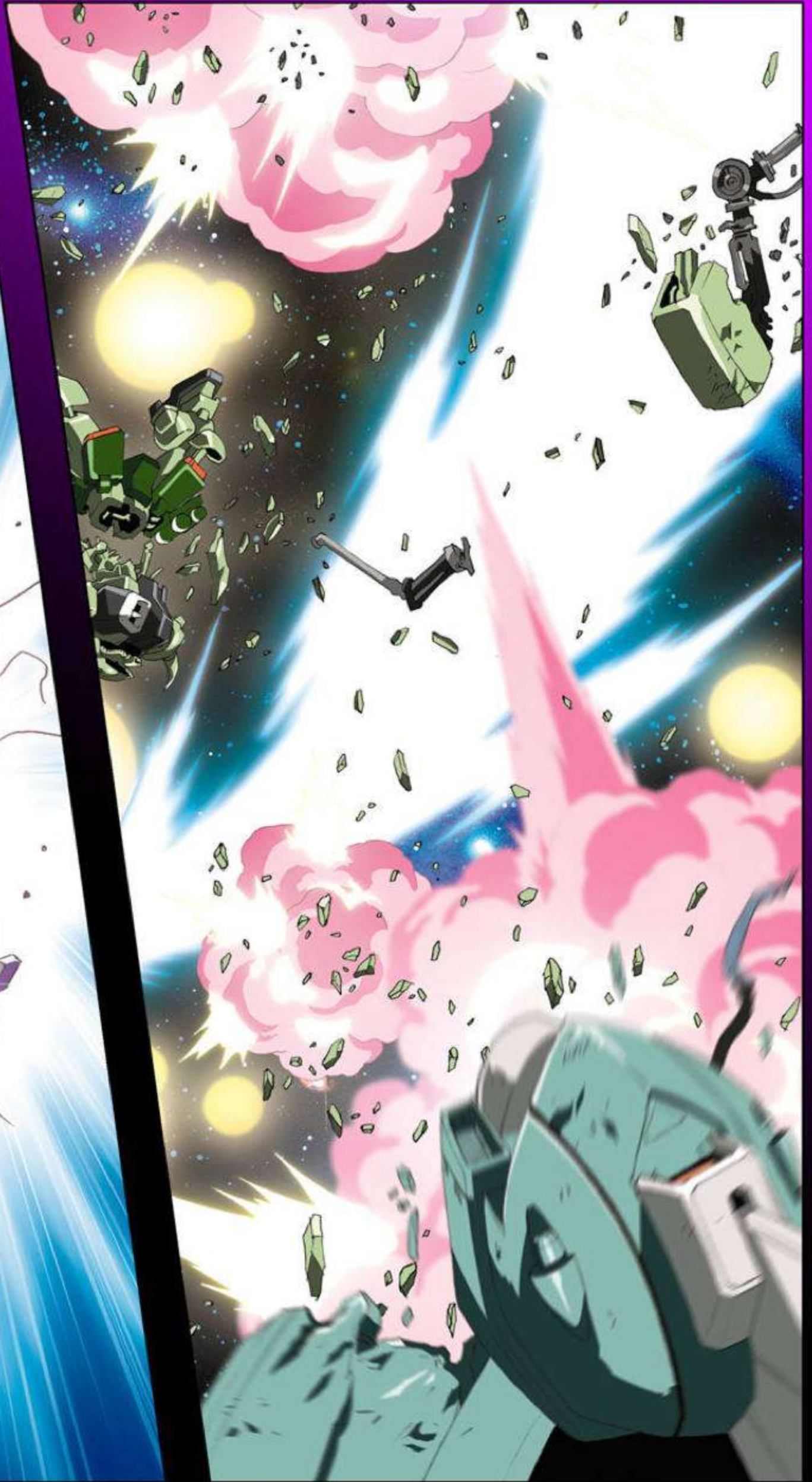


私の膣なか内に…  
もっとうちようだい！！



私の言うこと  
なら何だつて  
聞いてくれるに  
違いない…!!

もうキラは  
私の虜…!!



あの戦いの光の中に…今、彼はいる

——キラは私の願いを聞き届けてはくれなかった。



このまま  
ずっと私の  
傍にいて……!


もう……戦いには  
参加しないで

お願いよキラ!



いいのよ  
それで……  
私はあなたの  
二人目のラクス!

こうしていると  
ラクスといるみたい  
でしょ……?



そこをどいて  
ミアア：  
もう僕は行か  
なきゃ！

僕は一度だって君をラクスだと思ったことはないよ…



こうして  
よりそうのは  
きつと寂しいから…

孤独に苦しみがく  
“痛み”はなぜか君には  
判ってもらえる気が  
したんだ

…でも



似てるからって  
同じじゃない

むしろ似る分  
違いも際立って  
しまう

でもその“違い”こそ  
君の“輝き”なんじゃ  
ない……？



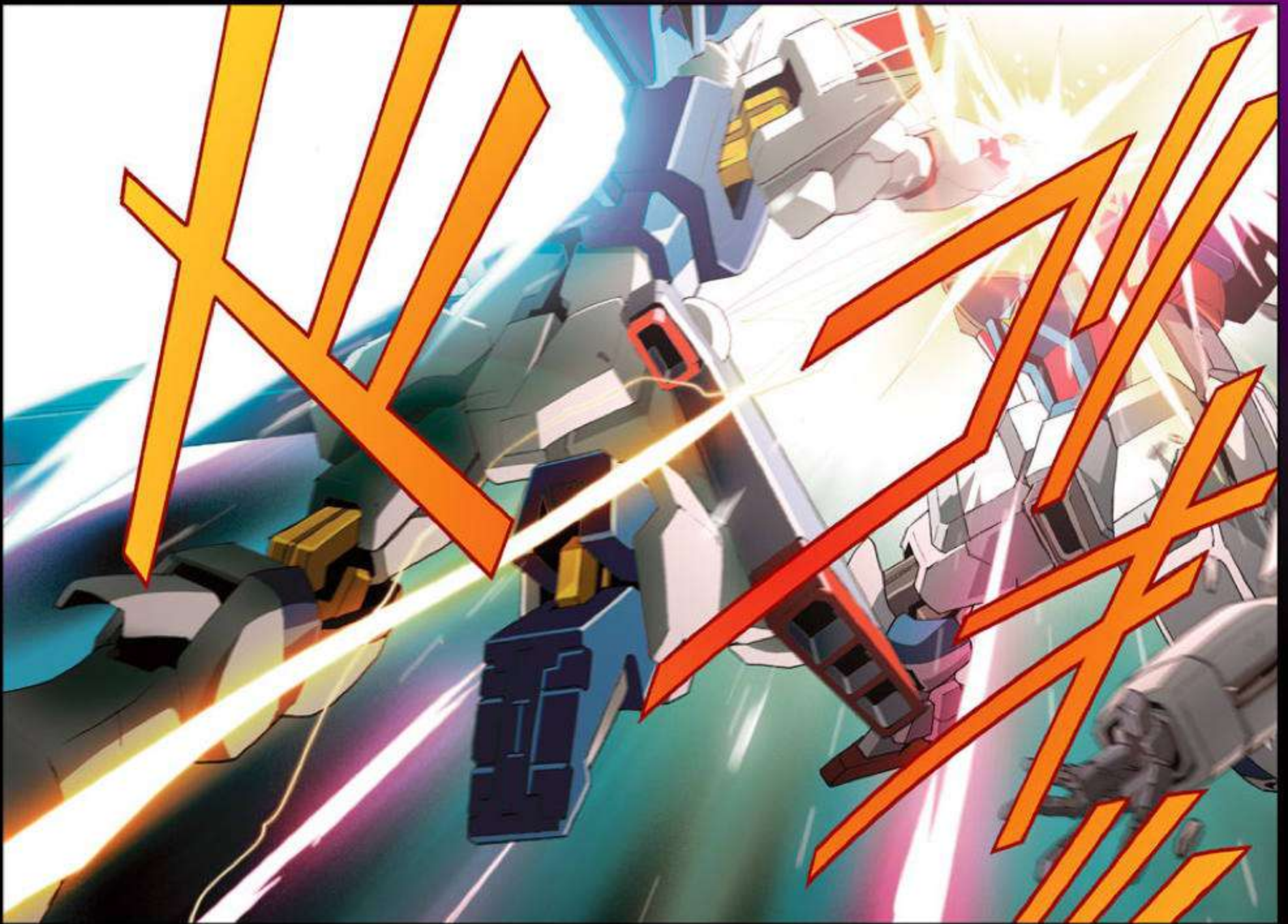




君は素敵だよ  
ミアア!

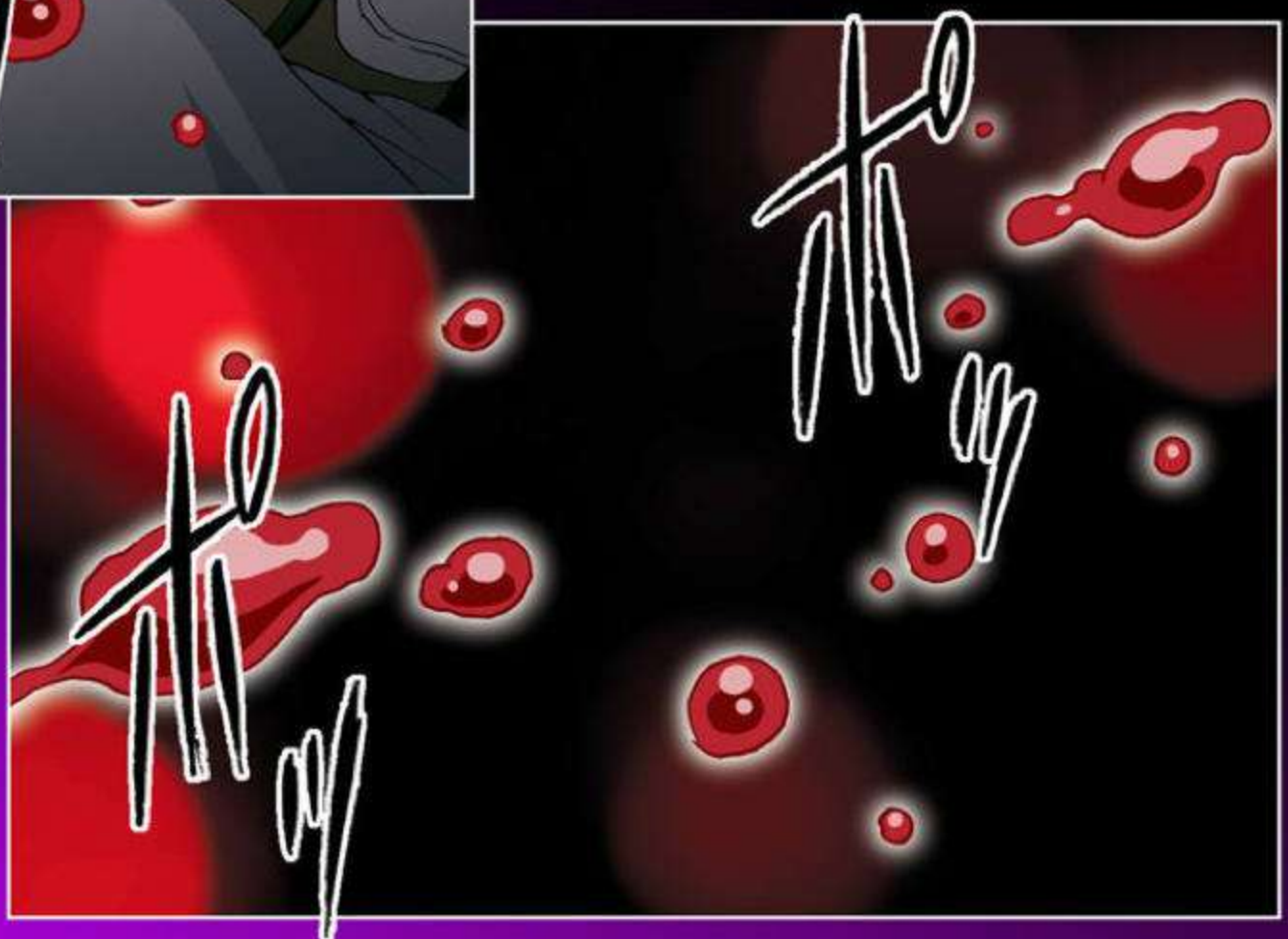
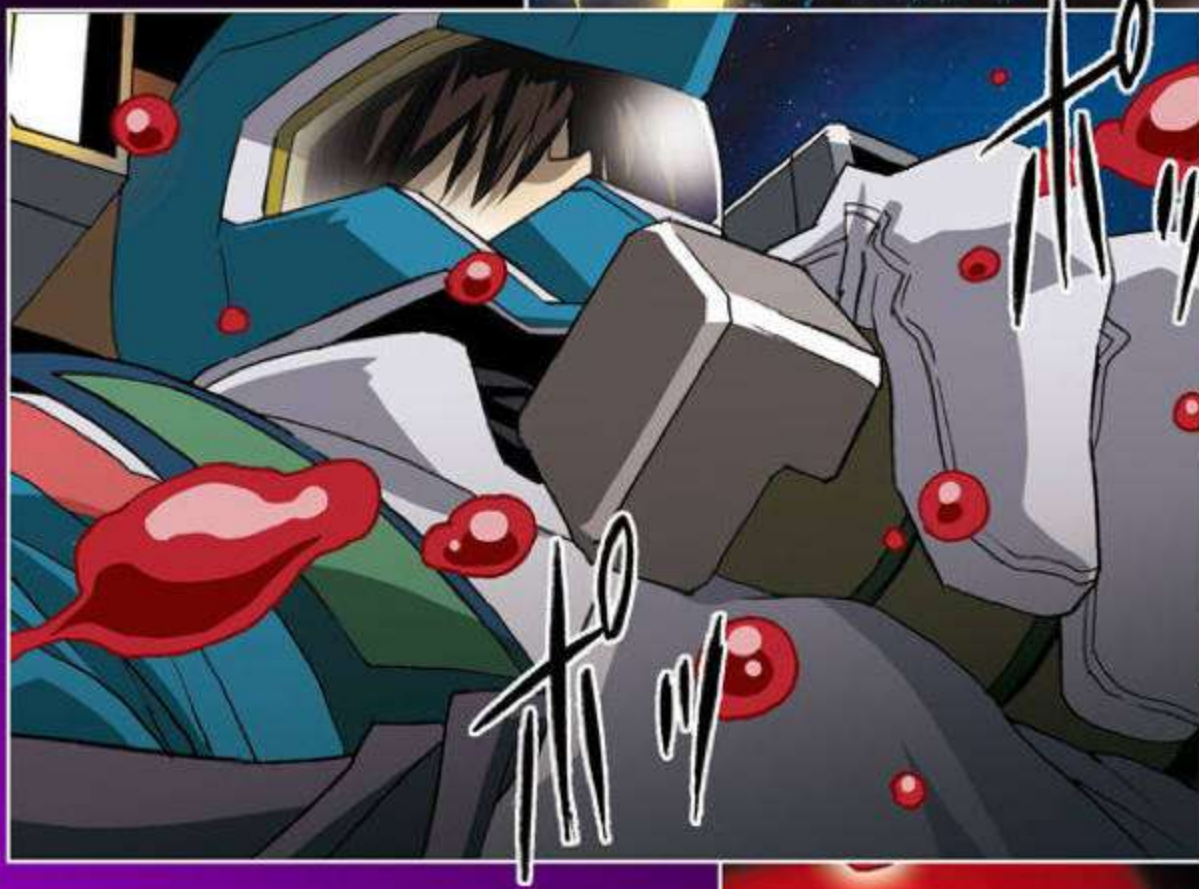
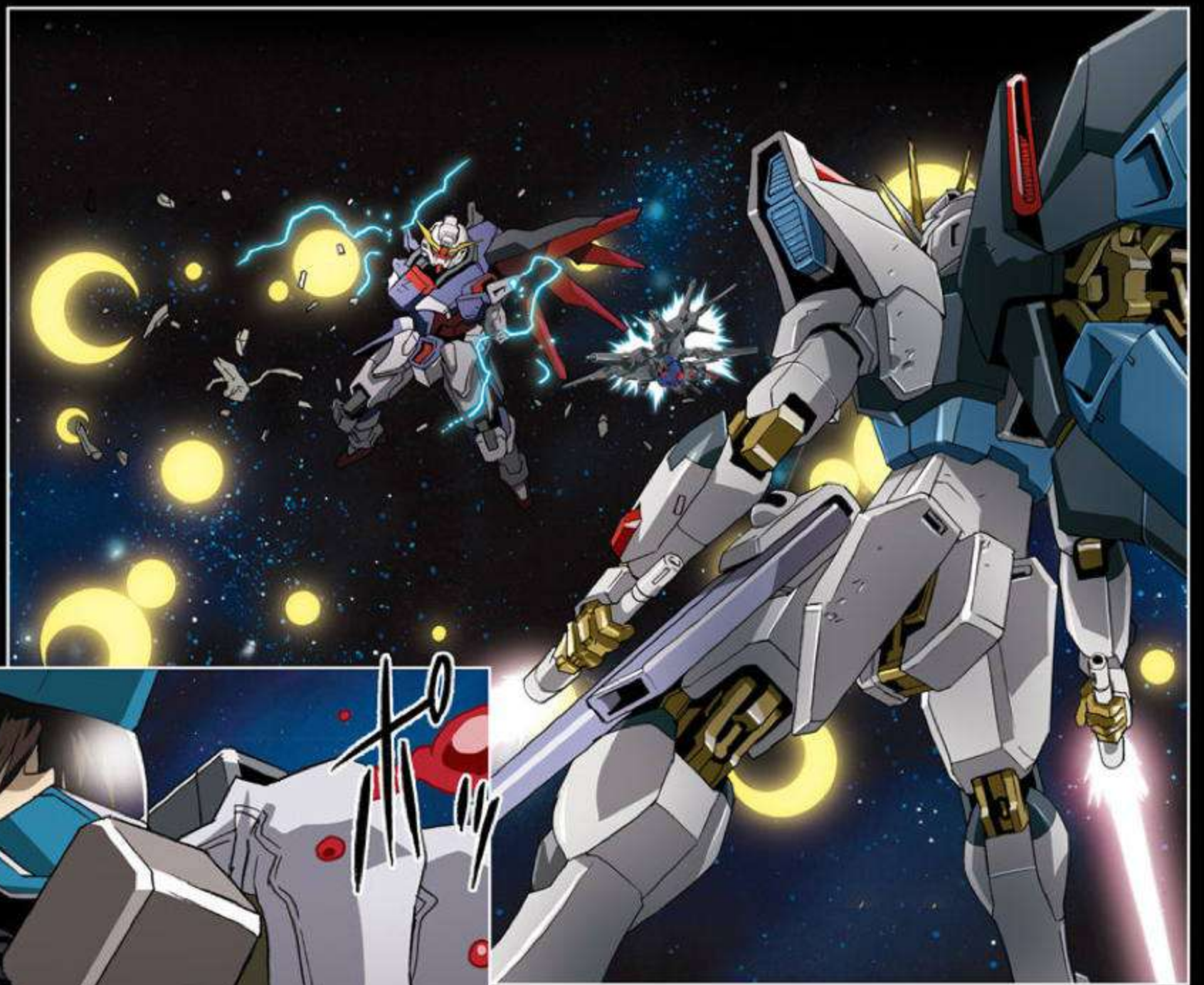
ラクスの振りなんて  
しなくたって

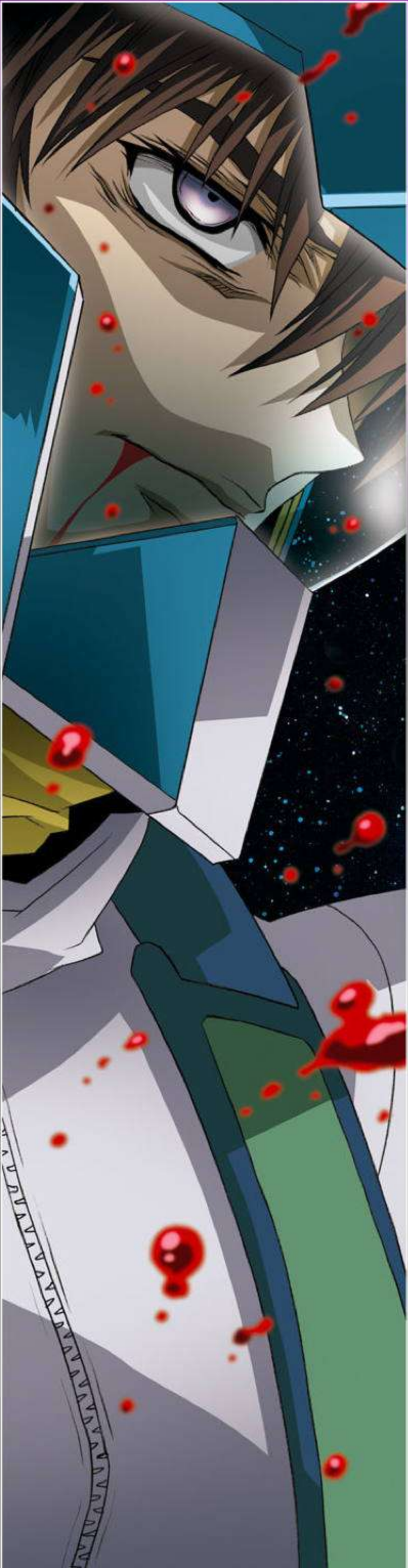
…言葉は違っていたけれどクルーゼ隊長と同じ事を言われた気がした。



もし、クルーゼ隊長を知る前に彼に出会っていたら  
…それでも私はこんな事をしただろうか!?

こんな取り返しのつかないことを...





私はこの手で……キラ・ヤマトを刺した





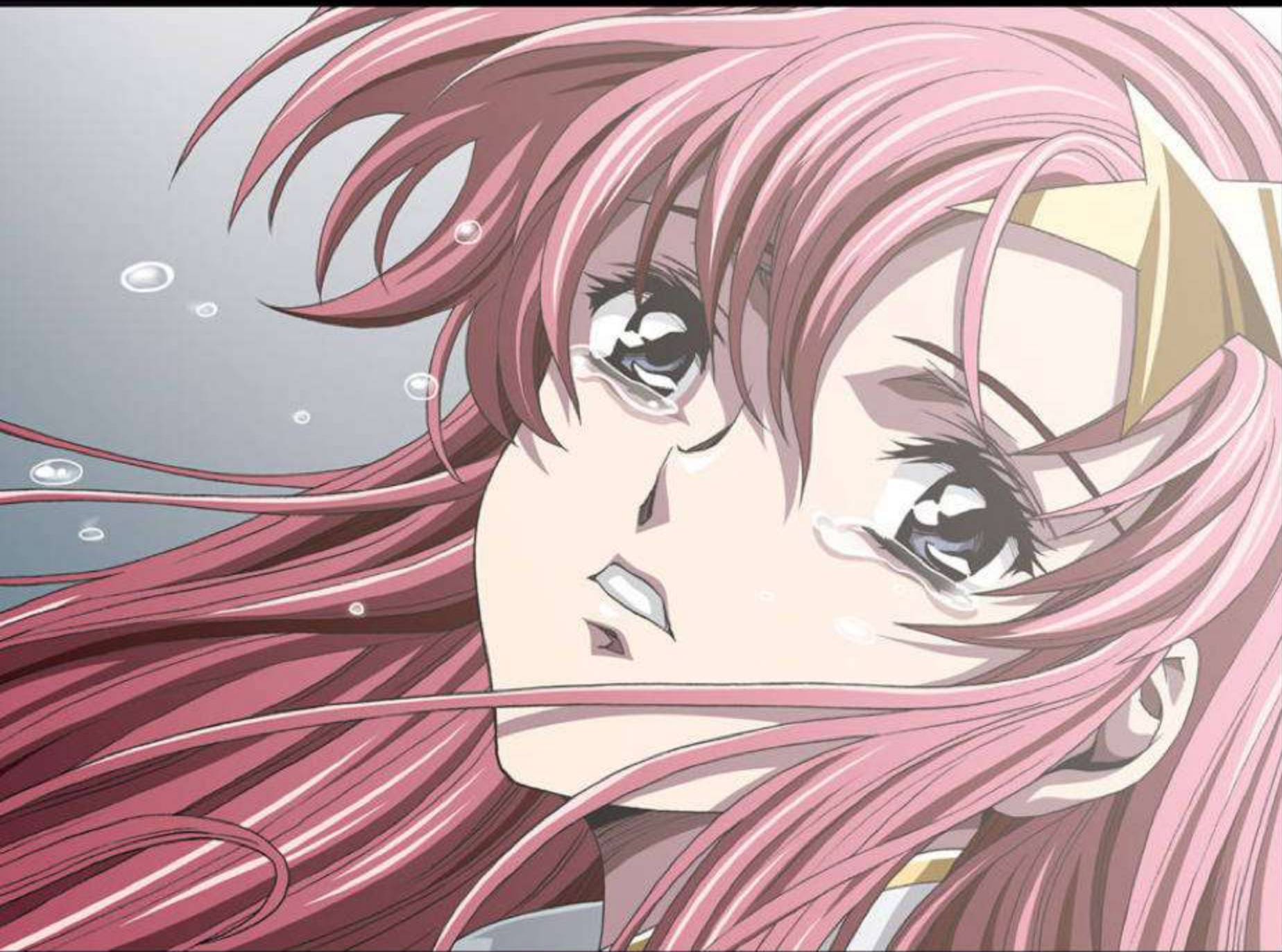
ねえ…キラ

間もなく消えゆく私達のこの命は  
何かを残していくことができるのかしら…  
それは死んでからでも見つけられるモノ？

もしそうなら…私はこう願わずにはられない



戦い続けたあなたの思いが  
想いを残して死んだ人にも届きますように  
…そしてあなたが守った世界にいつか  
その“実り”がもたらされますように——



まばゆい光の中で 視界を失った私の瞳は  
やがて訪れる その実りをもう見ることはできないけど...



信じているわ…キラ

あなたによって救われる未来があることを

こうして——あなたに救われた私が在たように

シードアナザーセンチュリーD. E. 外伝/ミーア

Fin



# CENTURY GRAPHIX

2008 Summer

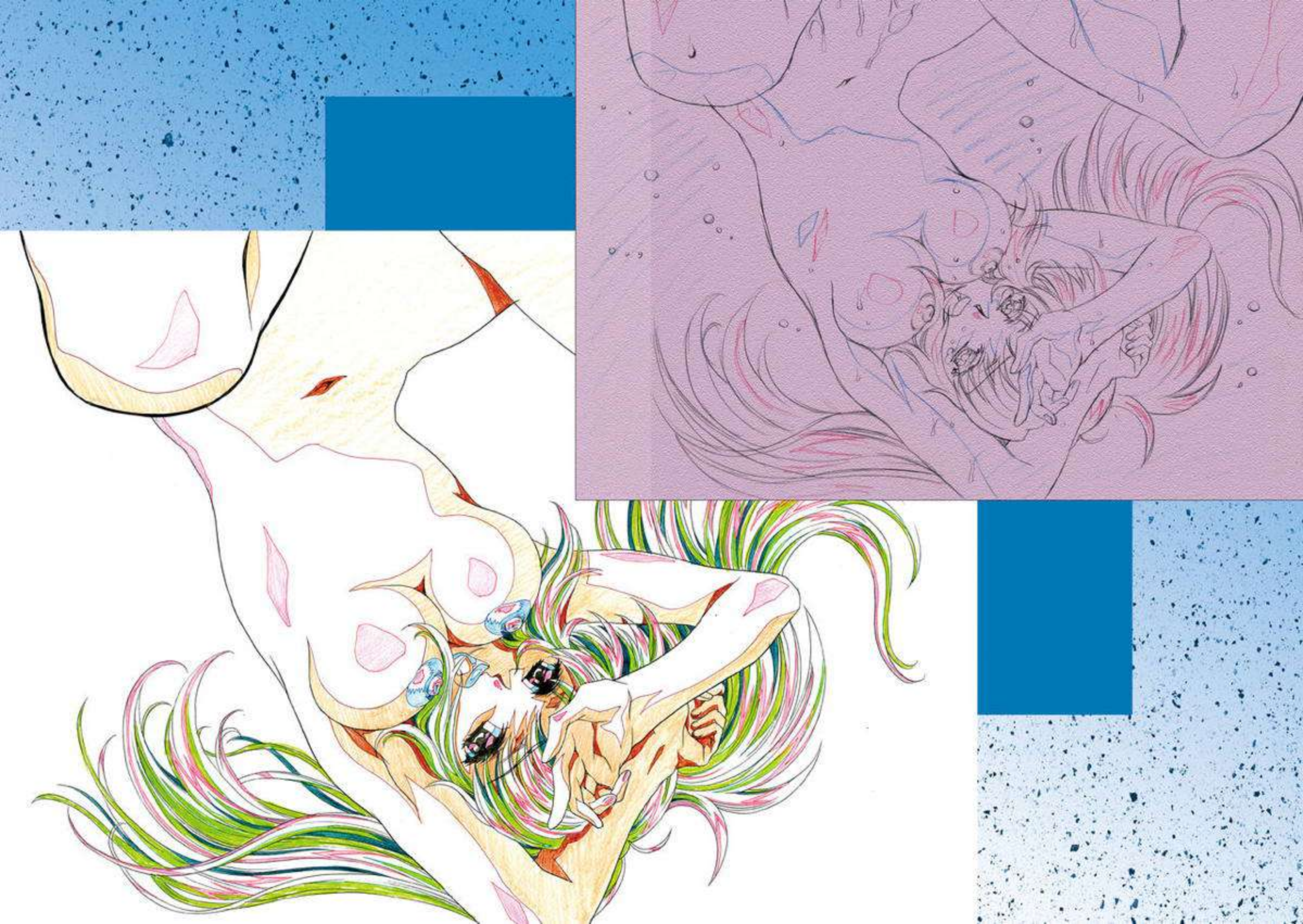


アナザーセンチュリー スペシャルエディション  
**ANOTHER CENTURY  
SPECIAL EDITION**  
FOR ADULT ONLY

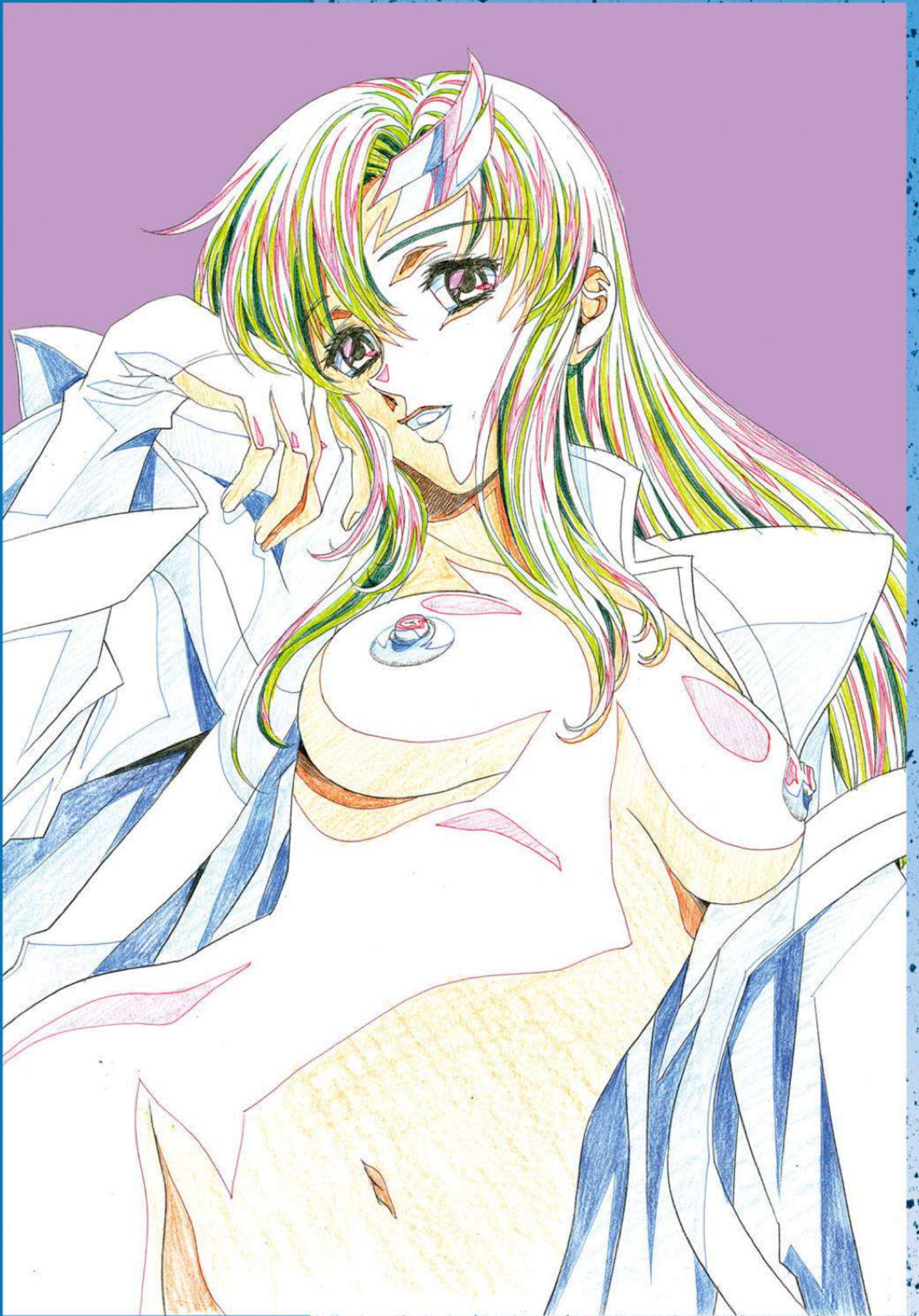


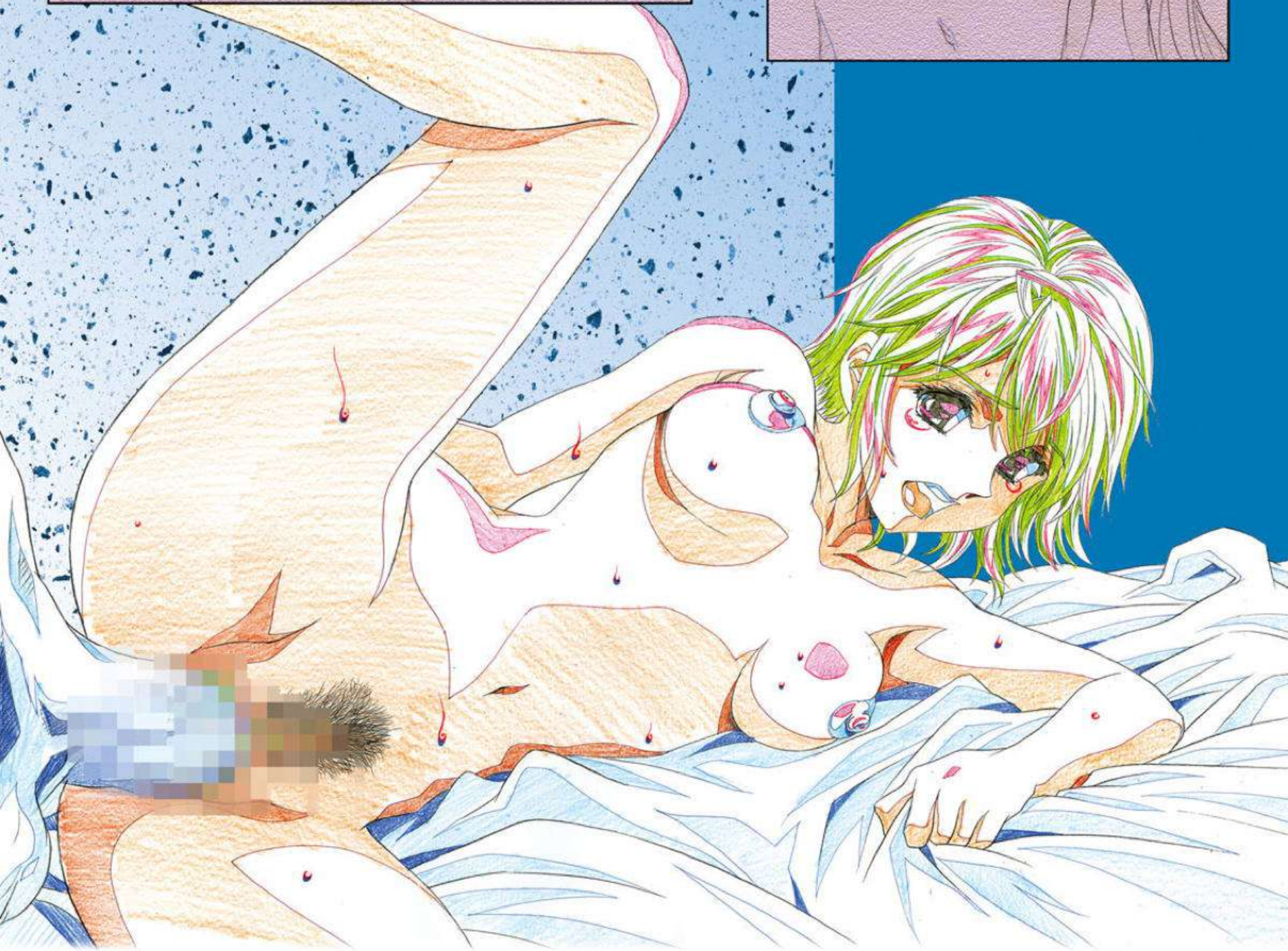




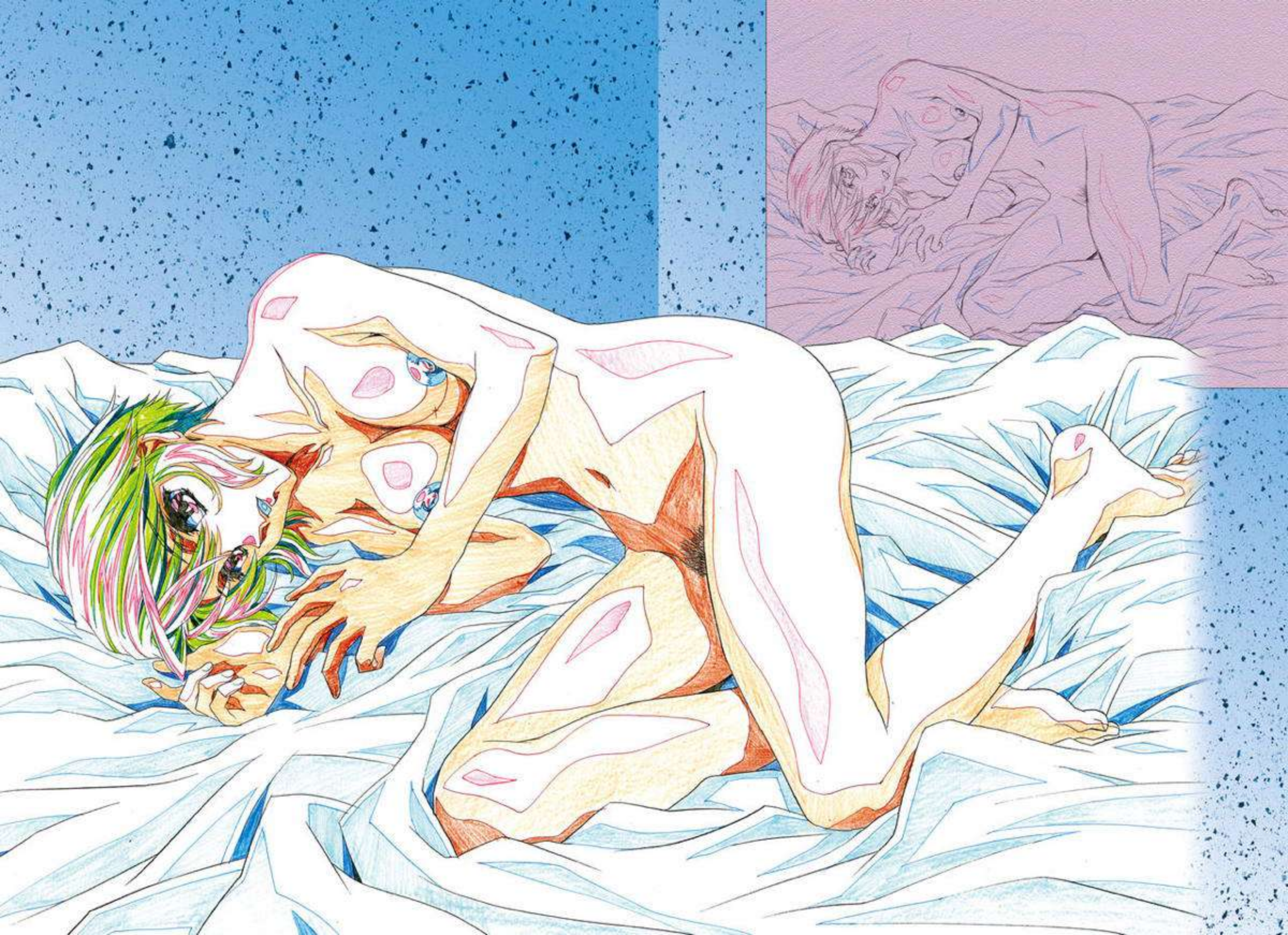


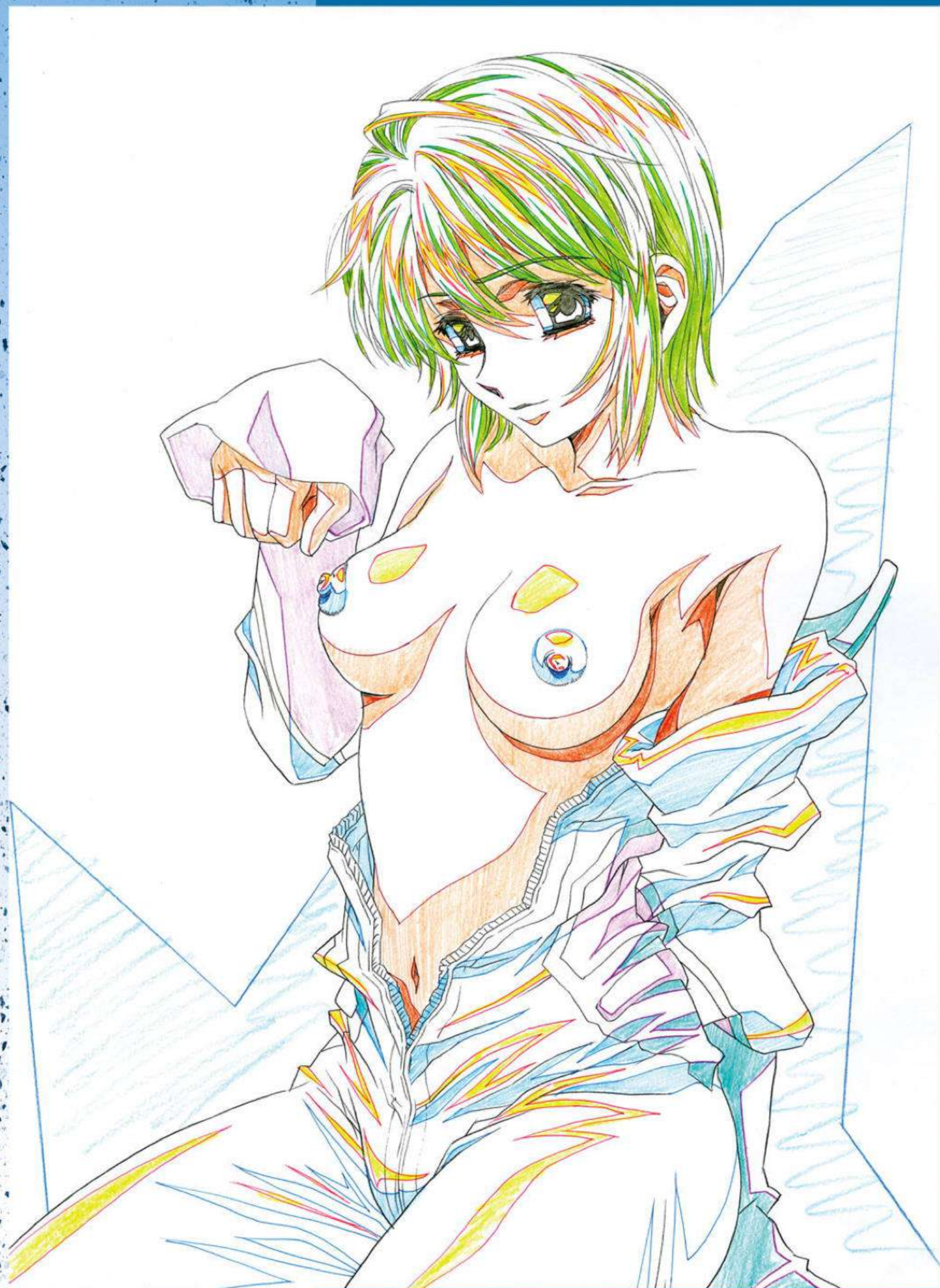


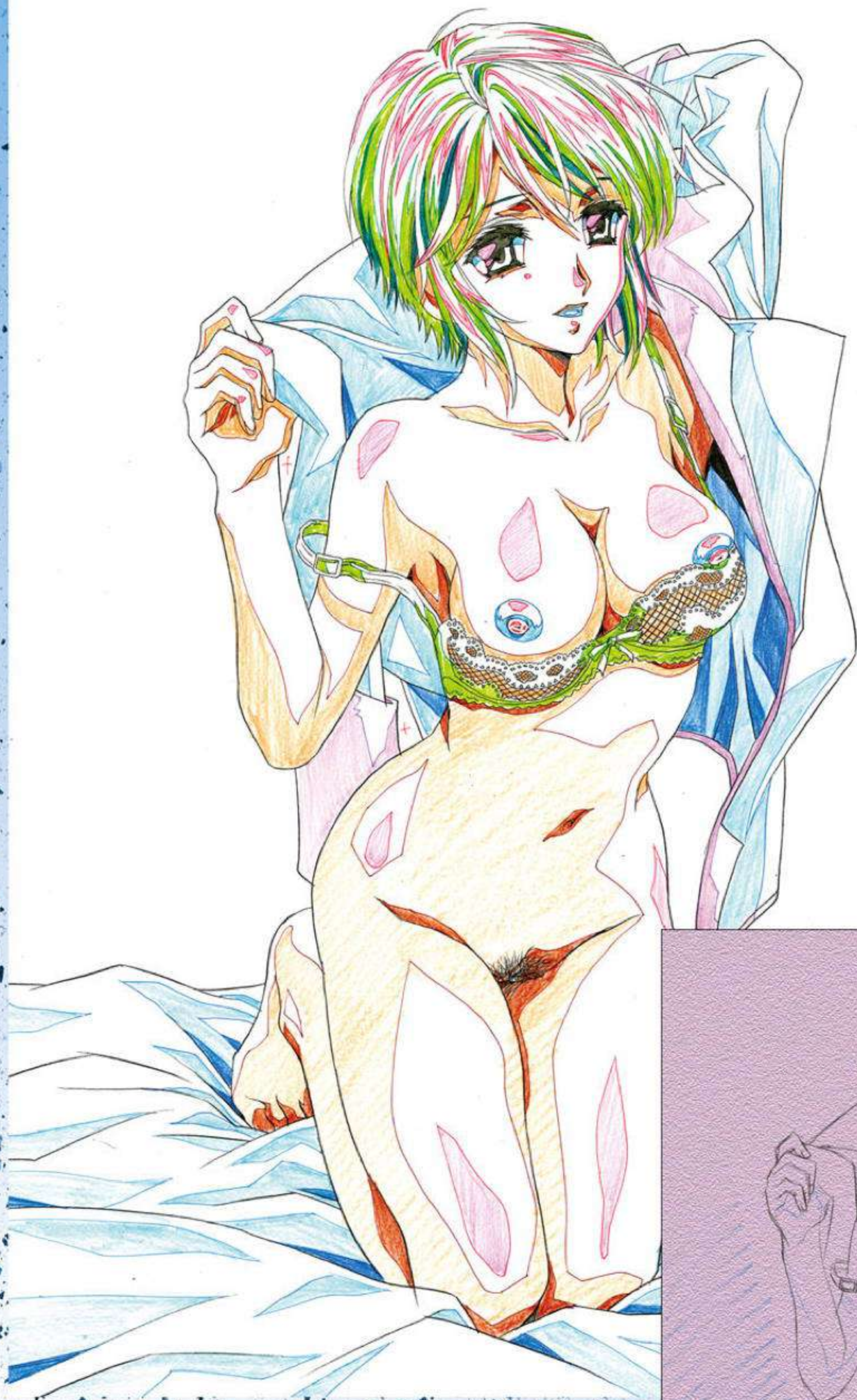


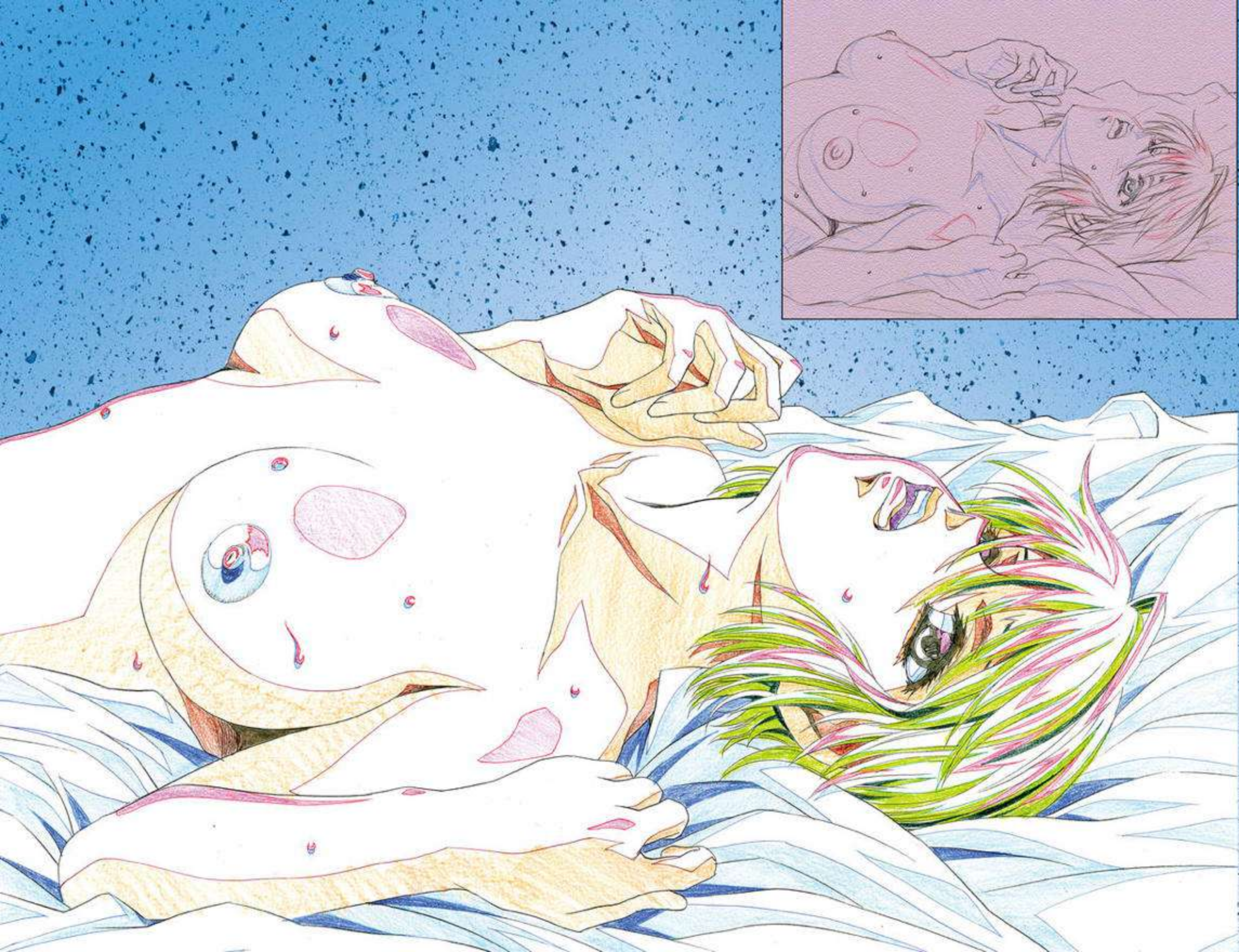














# [MEER CLIP]

発行：片励会  
2013年5月26日 U P L O A D

E-mail : [lietec@gmail.com](mailto:lietec@gmail.com)  
web : [www.henreikai.com](http://www.henreikai.com)

本作品からの無断転載、複製その他の  
海賊版行為の一切を禁ずる。



פִּינִי קֵי-מֵ  
FIN

*presented  
by Henreikai*





*presented  
by Henreikai*



*presented  
by Henreikai*



*presented  
by Henreikai*





*Meer Cambell*  
*by Henreikai*



*Meer Cambell*  
*by Henreikai*



*Meer Cambell*  
*by Henreikai*



*Meer Cambell*  
*by Henreikai*